

- 問1 中国・四国地方と九州地方の産業統計を比較したとき、それぞれの地方の特色について正しく説明しているものはどれですか。なお、統計において中国・四国地方の工業出荷額は約36.7兆円、九州地方は約25.7兆円となっています。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 九州地方は中国・四国地方に比べて人口が多く、農業生産額も大きいですが、工業出荷額は中国・四国地方の方が大きい。 | 2. 中国・四国地方と九州地方を比較すると、人口、農業生産額、工業出荷額のすべての項目において九州地方が中国・四国地方を上回っている。 | 3. 中国・四国地方は九州地方に比べて人口が多く、農業生産額も工業出荷額も九州地方を上回っている。 | 4. 九州地方は中国・四国地方に比べて農業生産額は小さいが、工業出荷額と人口において中国・四国地方を大きく上回っている。 |
|--|---|---|--|
- 問2 九州地方にある、温泉地として全国的に有名な観光都市の産業構造や社会状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 旅館や飲食店などの観光関連のサービス業に従事する人が多いため、第3次産業の就業人口割合が極めて高いが、少子高齢化や人口減少という課題も抱えている。 | 2. 広大な土地を活かした大規模な農業や畜産業が盛んであるため、第1次産業の就業者割合が他の都市に比べて高く、若者の流入が続いている。 | 3. 臨海部に鉄鋼業や自動車産業などの大規模な工場が集積しているため、第2次産業の就業者割合が最も高く、生産年齢人口の割合も非常に高い。 | 4. 県庁所在地として行政機能や情報通信業が集中しているため、第3次産業の割合は高いが、都市開発により子育て世代の人口が増加している。 |
|--|---|--|---|
- 問3 福岡県の北九州市に関して、かつて官営八幡製鉄所が建設され重化学工業が発展したが、現在ではその産業構造に変化が見られる。この地域の現在の特徴的な取り組みとして最も適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚介類の養殖 | 2. 伝統的な繊維産業を中心とした地場産業の振興 | 3. 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成 | 4. 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培 |
|---------------------------|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|
- 問4 鹿児島市の沿岸部において、1983年には海だった場所が2004年には「みなと大通り公園」や「水族館」が位置する陸地へと変化した。このような地形の変化をもたらした背景として正しいものはどれか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 地球温暖化の影響で海面が低下したことにより、浅瀬だった場所が自然に陸地化した。 | 2. 都市機能の拡充を目的に、土砂などで海を埋め立てて新たな土地を造成した。 | 3. 大規模な地震によって地盤が急激に隆起し、海面下だった場所が陸地になった。 | 4. 火山の噴火によって流出した溶岩が海岸線に到達し、冷えて固まることで土地が広がった。 |
|--|--|---|--|
- 問5 福岡県の自然環境について説明した次の文章のうち、正しいものはどれですか。県の北東部に位置し本州との境界となっている潮流の速い海峡と、県の南西部に位置し日本で最も干満の差が大きいことで知られる海の組み合わせを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 1. 紀伊水道と伊勢湾 | 2. 関門海峡と有明海 | 3. 豊後水道と鹿児島湾 | 4. 津軽海峡と大村湾 |
|-------------|-------------|--------------|-------------|
- 問6 鹿児島県の地形別面積割合に関する統計において、台地の占める割合は約20.8パーセントとなっており、全国平均の約11.2パーセントと比較して非常に高い数値を示しています。このように、過去の火山活動による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された、九州南部に広がる台地を何と呼びますか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|----------|---------|
| 1. 砂丘 | 2. 扇状地 | 3. シラス台地 | 4. カルデラ |
|-------|--------|----------|---------|
- 問7 1990年代末から2010年にかけて、沖縄県を訪れる中国人観光客の数は474人から10,888人へと急増しました。このような変化が起きた背景にある、中国国内の経済状況の説明として最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 中国国内の農業生産が停滞したため、食料を確保するために近隣諸国へ渡航する人々が増加した。 | 2. 中国の経済格差が完全に解消され、すべての農村部の人々が自由に沖縄へ旅行できるようになった。 | 3. 中国のGDP（国内総生産）が増大し、国民の生活水準が向上したことで、海外旅行を楽しむ層が拡大した。 | 4. 中国のGDPが世界第1位に到達し、政府が国民全員に海外旅行を義務付ける制度を導入した。 |
|---|--|--|--|
- 問8 地方ごとの自然災害の発生状況を調べると、九州地方では土砂災害の発生件数が極めて多い傾向が見られる。この背景にある、九州地方南部に広がるシラスなどの火山性地層の性質として適切なものはどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 1. 保水力が高く、固まりやすい | 2. 地盤が強固で、浸食されにくい | 3. 水を通しにくく、粘土質である | 4. 水がしみこみやすく、もろい |
|------------------|-------------------|-------------------|------------------|
- 問9 日本の諸地域に関する統計において、人口が約1400万人を超え、農業生産額が約1.9兆円に達し、年間商品販売額も中国・四国地方を上回る規模を持つ地方はどこですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 東北地方 | 2. 中国・四国地方 | 3. 九州地方 | 4. 近畿地方 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問10 九州地方の諸都市について述べた文として、福岡市の特徴を説明しているものはどれか、次のうちから選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 九州地方の北部に位置する県庁所在地であり、地方中枢都市として商業やサービス業が盛んである。 | 2. 九州地方の北部に位置する工業都市であり、明治時代に官営の製鉄所が建設された歴史を持つ。 | 3. 九州地方の中央部に位置する県庁所在地であり、古くから城下町として栄え、現在は交通の要所となっている。 | 4. 九州地方の南部に位置する県庁所在地であり、火山灰の堆積したシラス台地が広がる地域に位置している。 |
|--|--|---|---|
- 問11 都市の人口構造に関する記述として、那覇市（昼夜間人口比率 約109.6%）と、その隣接する豊見城市（同 約92.2%）の関係性を正しく説明しているものを選んでください。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 那覇市は観光開発によって一時的な滞在者が増えており、豊見城市は農業を中心とした自給自足的な地域である。 | 2. 那覇市は行政や経済の中心地としての役割が強く、豊見城市は那覇市へ通う人々の住宅都市としての側面が強い。 | 3. 那覇市ではドーナツ化現象により夜間人口が急減しており、豊見城市では都心回帰現象により夜間人口が急増している。 | 4. 那覇市と豊見城市の間で、日中の買い物客の移動が双方向に均等に行われていることを示している。 |
|--|--|---|--|
- 問12 温泉の源泉数が全国で最も多いことで知られる大分県の地域的特徴について、地形や産業の観点から述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 広大な干拓地を有しており、機械化された大規模な農業によって小麦の生産が行われている。 | 2. 筑後川の下流に広がる平野部を利用して、米と小麦の二毛作が盛んに行われている。 | 3. 火山活動が活発な地域に位置しており、別府や由布院などの温泉地が観光の拠点となっている。 | 4. 亜熱帯の気候を生かして、サトウキビやパイナップルなどの栽培が盛んに行われている。 |
|---|---|--|---|